舞鶴工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	電気情報概論
科目基礎情報					
科目番号	0063		科目区分	専門 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	電気情報工学科		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: 必要に応じて資料を配布する。/ 参考書: 図書館の積極的な利用を推奨する。				
担当教員	片山 英昭, 井上 泰仁				
到達目標					
1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	身近にある電気・電子・情報・通信に十分に興味をもつ。	身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもっている。	身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもっていない。		
評価項目2	ソフトウェアの仕組みを十分に理解している。	ソフトウェアの仕組みを理解している。	ソフトウェアの仕組みを理解していない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (A)					
教育方法等					
概要	「身近にある電気・情報」をキーワードに座学と実験を中心に学習を進める。これから電気情報工学科で履修する科目と「身近にある電気・情報」との関連を理解することに重点を置く。				
授業の進め方・方法	講義を中心に授業を進める。また、理解を深めるために、適宜ミニテストとレポート課題を課す。講義の進捗に応じて資料を配布する。				
注意点	<p>【成績の評価方法・評価基準】 定期試験は行わない。授業中のミニテスト(40%), レポート(60%)で到達目標の到達レベルを評価する。期限までにレポートが提出されなかった場合は、単位を与えない。</p> <p>【備考】 毎週、電卓を持参すること。</p> <p>【教員の連絡先】 研究室 A棟3階 (A-324), A棟3階 (A-319) 内線電話 8969, 8964 e-mail: katayama@attマークmaizuru-ct.ac.jp, yinoue@attマークmaizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)</p>				
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明 (1-2 教室)	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。	
		2週	アクティブラーニング 1	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。	
		3週	電気と情報	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		4週	情報と通信	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		5週	アクティブラーニング 2	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。	
		6週	モデリング実習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		7週	モデリング実習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		8週	モデリング実習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
	2ndQ	9週	電気・電子回路演習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		10週	電気・電子回路演習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		11週	電気・電子回路演習	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		12週	Raspberry Pi Zeroを利用した実験	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	
		13週	Raspberry Pi Zeroを利用した実験	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。	

		14週	Raspberry Pi Zeroを利用した実験	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。 2 ソフトウェアの仕組みを理解する。
		15週	アクティブラーニング3	1 身近にある電気・電子・情報・通信に興味をもつ。
		16週	期末試験（課題提出）	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
専門的能力	分野別の専門工学	電気・電子系分野	電気回路	電荷と電流、電圧を説明できる。	1	前6,前10,前11
				オームの法則を説明し、電流・電圧・抵抗の計算ができる。	1	前6,前10,前11

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	100	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0